

「11%のくらしってどう？」 総合的な学習の時間 指導案

	活動	留意点	備考
導入	① 本時のねらいとゴールを知る。 ② 「11%のくらしってどう？」のビデオを視聴する。 ③ ビデオ視聴の初発の感想を交流する。 ④ 初発の感想から次の3つの課題があることを整理する。 A「エネルギー資源確保」B「自給率 Up」C「11%のくらし」	ねらいは「日本のエネルギー自給率がとても低く、様々な課題を抱えていることを知り、課題解決に向けて何が必要かを考える」ことを伝える。ゴールについては、それぞれの課題について考えたことを交流し、もっと良いアイデアを生み出すこととする。	
展開1	ビデオからの課題提起を受け、次の3つの課題グループに分かれ、課題解決に必要なアイデアを考える。		
	課題提起⇒協働探究		
	A エネルギー資源を確保するために必要なことを考えよう 【予想反応】 (ア) 日本国内の資源を探す (イ) 外国と仲良くする (ウ) 日本からも何かを提供する (エ) 資源輸入相手国を増やす (オ) 自給率の高い国から分けよう (カ) 外国に恩を売っておく、弱みを握る (キ) 商社の人に買いに行ってもらおう	B 自給率を上げるために必要なことを考えよう 【予想反応】 (ア) 再生可能発電を増やす (イ) 海外からの資源輸入を減らす (ウ) 電力消費を減らす (エ) ベースロード電源を確保する (オ) 原子力発電を増やす (カ) 太陽光発電を義務付ける (キ) 小型水力発電を増やす (ク) 早く寝る	C 自給率11%では、他の生活がどうなるのか考え、困ることランキングをつくろう(その理由も) 【予想反応】 1位<冷蔵・冷凍庫> ▼食べ物を保存できない 2位<冷暖房> ▼寒さ暑さに耐えられない 3位<照明> ▼夜真っ暗な生活 4位<自動車> ▼通勤移動ができない 5位<調理器具> ▼魚はお刺身ばかりになる
展開2	【発表・意見交流】 ① グループごとに発表し、質疑応答する ② 最後に意見交流を行い、更なる改善策をうみだす	面白いアイデアやレベルの高い発想には、高い評価を与え、皆でその価値を共有する	司会進行を児童にさせてもよい
まとめ	【感想交流とまとめ】 ① 本時で学んだことや感想を出し合う。 ② 児童の言葉より、将来の日本のエネルギーについて大事なポイントを押さえる (例)海外とのつながり、再生可能エネルギー、ベースロード電源、ベストミックス、省エネ、最新電化製品…	自給率11%を最後に再確認し、日本のエネルギー事情への関心を高めるとともに、身近なエネルギー問題に関心を持つようにまとめる	